

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	海法特論	
科目基礎情報							
科目番号	0205			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	「海商法」中村眞澄・箱井崇史著 成文堂						
担当教員	西井 典子						
到達目標							
海上運送人の履行補助者である船長および船員に必要な権利及び義務を理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	法律を読み解き、内容及び解釈を理解し説明できる。			法律を読み解き、内容を理解し説明できる。		法律を読み解き、内容を理解できない。	
評価項目2	海上運送に伴う義務と責任を説明できる。			海上運送に伴う義務と責任を説明できる。		海上運送に伴う義務と責任を説明できない。	
評価項目3	海商法の内容を十分理解し、説明できる。			海商法の内容を理解し、説明できる。		海商法の内容を説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	学習目標(授業の狙い) 海商法は、海上の危険を回避し克服するために、人類が発明した法である。“人はどのようにして、海上の危険を克服してきたのか？” この問いの一つの答えを知るために、海商法の法的なものの考え方と知識を学ぶ。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義を実施する。						
注意点	定期試験（約70%）と課題・小テスト等（約30%）により総合的に評価する。						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス、総論		制定経緯、法の役割と位置づけ		
		2週	海商法		国際条約との関係、海商法の意義、独自性、適用範囲		
		3週	組織－ 1		海商企業組織		
		4週	組織－ 2		海商企業組織		
		5週	船主責任制限－ 1		船舶所有者の責任の制限に関する法律		
		6週	船主責任制限－ 2		船主責任制限の判例		
		7週	船主責任制限－ 3		船主責任と第三者保護		
	2ndQ	8週	船長－ 1		船長の私法上の権利		
		9週	船長－ 2		船長の私法上の義務		
		10週	海上運送人－ 1		海上運送人の義務		
		11週	海上運送人－ 2		海上運送人の義務		
		12週	書類		船荷証券		
		13週	海損－ 1		共同海損、ヨーク・アントワープ規則		
		14週	海損－ 2		共同海損の清算		
		15週	期末試験		授業内容の理解度を測る試験を行う。		
	16週	答案返却、解説、評価確認、授業アンケート		答案返却、解説、評価確認、授業アンケート			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	35	0	0	0	0	10	45
専門的能力	35	0	0	0	0	10	45
分野横断的能力	0	0	0	0	0	10	10